(7) 指導経過

回	遊戯療法（児童）	親へのカウンセリング	担任教師の働きかけ
①	○緊張が強い，無理に話そうとすることをやめる。 ・人物画テスト実施 ・名前や学年を聞くとかすかな声で答える。	○諸検査（親子関係診断テスト，エゴグラム）の結果から，今後の養育態度について話し合う。 ・小さい頃から父になじんでいない。	○口をきくことを強要することは，本人を窮地に追いこむことになるのでさけるようにする。 ・表情が硬く一言も話さない。 ・友人もいない。
② 〜 ④	○積木等の小さな遊びに興味がある。遊びを通して，本人とのラポート形成に努力する。 ・4/11話しかけても緊張が強く視線があわない。声が出ず首を振って応答する。 ・4/25ラポートができあがっている。視線もあい，名前を呼ぶと小さな声で返事をするようになる。	○両親の養育態度を改善し，父親が子供に接近することが大事であることを説明する。 ・4/11父親が来所，本人との接し方に問題があることに気づく。 ・4/18父親の態度に変化がみられる。本人と一緒に入浴し父子関係の改善に努力している。しかし，時々口をききくように強要してしまう。	○話すことを強要しないで声かけを多くし，本人のラポートづくりに努める。 ・表情がかたく，視線があわない。自閉症の子供ではないかと疑う。 ・名前を呼んでも返事がない。立つ座るのくり返しで給食もとらない。 ・4/28給食時にはじめて給食用のお盆をとる。